

団体名 Kai Analytics株式会社

所在地 東京都新宿区西新宿3丁目3番13号西新宿水間ビル2F

設立 令和5年7月 Email info@kaianalytics.jp HP <https://www.kaianalytics.jp/>

団体概要

Mission: AIとデータを活用し、NGOおよびNPOを支援する

Vision: データを通じて、グローバル規模の社会的価値を創出する



主な取り組み・課題

- 最先端の自然言語処理 (NLP)
- 機械学習モデルによる定性的なデータ分析
- Data FactoryやSynapseなどのAzureツールによるデータ変換
- Power BIによる可視化 など

主な活動地域

日本国内外を含むグローバルなフィールドで事業を展開。本社はカナダ・バンクーバーに構え、日本では東京に拠点を設置。

現在は、カナダ、アメリカ、日本、スイス、タイ、インドに顧客を有し、地域や国境を越えたプロジェクトに取り組む。

- *国連のすべての公用語をサポート
- *国際協力/開発領域での経験が豊富

これまでの連携実績

1. MSMEにおける職場のジェンダー平等調査

連携先: Asia-Pacific Foundation of Canada

分野: 食品・飲料セクター

対象者: タイの中小零細企業 (MSME)

強み: アンケート調査、NLP、可視化

成果: 持続可能な経営およびジェンダーを考慮したビジネス慣行に関する明確なベンチマークを提示

MSMEの事業者15名へのインタビューおよび政府機関・業界団体5組織へのヒアリング、また、200名のMSME事業者を対象にアンケート調査を実施。自然言語処理 (NLP) を用いて、主要なテーマやペルソナを抽出し、分析結果を最終報告書としてまとめるとともに、インタラクティブなベンチマークダッシュボードをPower BIで可視化。

2. グローバル保健政策に向けた調査

連携先: 世界保健機関 (WHO)

分野: 伝統医療・補完代替医療・統合医療

対象者: 世界各国のWHO加盟国の政策立案者

強み: アンケート調査、データの自動化・統合や可視化

成果: 政策改善が必要な分野を明確化するとともに、世界的に共通する標準的な実践内容を特定

WHOが実施する第3回「伝統医療・補完代替医療・統合医療 (TCIM)」に関するグローバル調査を担当し、政策決定に資する実践的な枠組みを提供。調査票は国連の公用語すべて (アラビア語、中国語、英語、フランス語、スペイン語) で翻訳。また、Power BIによる自動化されたレポートダッシュボードを活用し、データ収集過程をリアルタイムで可視化。

Shared Vision

連携によって実現したいビジョン

あらゆる組織がデータを活用し、より良い未来を築くことができる世界の実現

私たちは、人工知能・モニタリング&評価・世論調査などに強みを持つデータサイエンス企業。

データドリブンな専門性を活かし、社会的価値の実現を支援できるパートナーシップ拡大を目指す。事業のスケールアップにつながるデータ分析を通じて、NPOやNGO、そして社会的価値の創出を目的とする組織の可能性を最大化する。

協業の形は多様であり、限られたリソースの中でも最大限の成果を生み出せるよう、実効性の高い取り組みを重視している。

- 組織の業務ニーズに対応
- 助成金や提案依頼（RFP）への共同申請 など

私たちができること

私たちは、多様なスキルを持つデータアナリスト、リサーチャーやコミュニケーションの専門家からなる強力なチームであり、以下のような支援が可能。

- 人工知能（AI）アプリケーションの構築
- データの統合および整理
- モニタリング、評価、レポートिंगのためのダッシュボード活用
- データを分析し、意思決定に役立つ知見を導き出す
- その他さまざまなデータ活用支援

さらに、資金獲得を最大化するために重要となる提案依頼書（RFP）や助成金申請において協働できる、優れた執筆力を持つメンバーも在籍。

サポートして欲しいこと

- **データ活用を中核に据えたプロジェクトへの協業機会**
社会課題の解決に向け、調査・分析・AI活用を含むデータドリブンなアプローチを必要とするプロジェクトへの参画
- **助成金・RFPへの共同申請・共同実施パートナー**
日本国内の市町村や国際機関、財団等による助成金や提案依頼（RFP）への共同申請・実施を通じた、社会的インパクトの創出

ビジョン実現のためにチャレンジしたいこと

• 多様なミッションを持つ組織との協業モデルの構築

組織ごとに異なる目的や制約を理解し、最も効果的な支援の形を共に設計すること

• データ活用の価値を分かりやすく伝えること

専門的な分析結果を、現場・意思決定者・支援者にとって理解しやすい形で可視化・共有すること

• 社会的価値創出と持続可能性の両立

社会的インパクトを追求しながら、長期的に継続可能な協業関係と事業モデルを構築すること